

近代英語協会第 39 回大会 (Zoom 会議)

日時 : 2022 年 8 月 20 日 (土)

開会の辞 9:50~9:55 会長 中村不二夫 (関西外国語大学教授)

シンポジウム 10:00~12:00

「コーパスデータによる言語現象の掘り起こし」

司会

日本大学教授 塚本 聡

講師 「後期近代英語における動詞の補文構造の変化を追う—ARCHER Corpus および COHA に
基づく検証」

青山学院大学教授 山本史歩子

講師 「I tell you 等の強調の効果をもつ遂行文の変化を追う」

千葉商科大学教授 山崎 聡

講師 「コーパスデータで言語変化の速度変化を追う」

日本大学教授 塚本 聡

総会 12:40~13:10

研究発表

第一部 13:20~15:30

司会 : 今林 修 (広島大学)

1. 「計量文体論手法による Tennyson の文体における語彙特徴一考」

大阪大学大学院生 藤田 郁

2. 「初期近代期における個人言語の多様性 : John Donne と Lancelot Andrewes の形態・統語的要素の分析」

熊本学園大学講師 矢富 弘

司会 : 大野英志 (広島大学)

3. 「Samuel Johnson による書簡の言語について」

広島修道大学教授 水野和穂

第二部 15:40~17:50

司会 : 野村忠央 (文教大学)

1. 「19 世紀における再帰代名詞への主語の働きかけの希薄化について:英語の V *oneself down* 構文を例として」

日本工業大学准教授 市川泰弘

2. 「Way 構文における形容詞修飾に関する通時的考察」

高知県立大学准教授 金澤俊吾

司会 : 松原史典 (京都女子大学)

3. 「チャールズ一世の裁判記録における時空間体系」

浜松医科大学教授 中安美奈子

法政大学教授 椎名美智

講演 18:00~19:00

司会 : 中尾佳行 (広島大学名誉教授)

「Ah, you are a travelling scholar! --- Verbs of Motion in Medieval English」

千葉大学名誉教授・小倉美知子

閉会の辞 19:00~19:05 事務局長 前田 満 (愛知学院大学教授)